

[追手門学院創立130周年記念特集]

日本の教育の 変革を目指す 新キャンパス

追手門の教育体制を
次世代へと一新するための
新キャンパスと新校舎。

総持寺キャンパスの建設が
2019(平成31)年4月の開設に向けて着実に進行しています。
大学はアカデミックアークという大きな船、
中・高はスマートパレットという色(個性)が混じり合う
斬新な教育空間として整備されます。
新キャンパスの完成によって、「学びあい、教えあい」による
主体的な学びを中心とした次世代型へと一新され、
新しい教育の形を世界に発信していく体制が整います。

New
Campus
New
Education

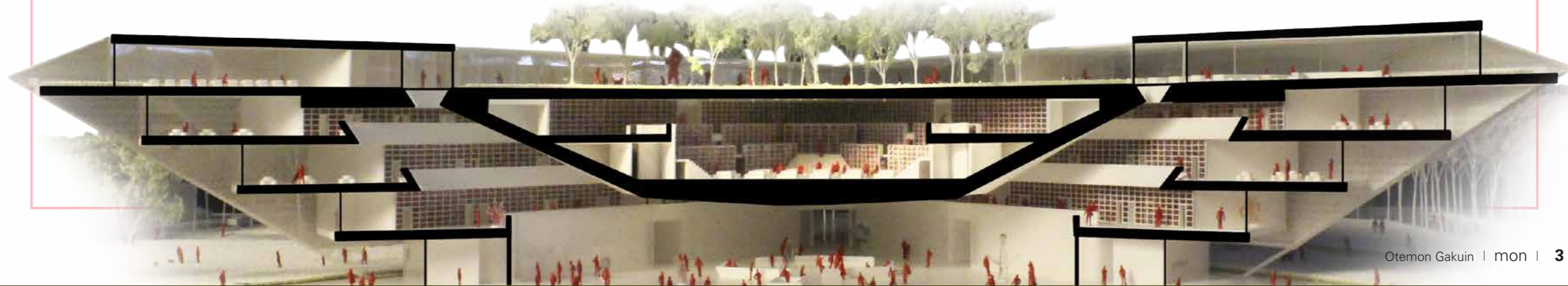
竣工式 | 2019年
5月26日(日) 予定



追手門学院
大学

Academic Ark

新キャンパス
誕生



01 行動して学び、 学びながら行動する 「OIDAI WIL」。

追手門学院大学では「WIL: Work is Learning」をコンセプトに「行動して学び、学びながら行動する」スタイルを身につけるためのプログラムを全学で実施。すでに、インターンシップやフィールドワーク、リーダー養成コースなど正課内外で多彩なプログラムが展開されています。新キャンパスではこのコンセプトをさらに推進。アカデミックアークの1階には「WIL STUDIO」を設け、あらゆる学生が、行動して学び、学びを実践につなげることができる環境を整備します。



教育の革新を加速させる 現代未聞の新キャンパス

「アカデミックアーク」誕生

Academic Ark

02 「学びあい、教えあい」を 体現する自由な空間。

新キャンパスは学部や機能が棟をわけるのではなく、アカデミックアーク一棟建てとなります。一辺130メートルの巨大な三角錐の中で、全学生、教職員、地域社会の方々が混じり合うことで、そこかしこで「学びあい、教えあい」を創出します。教室は従来型の大教室を廃して机やイスを可動式にすることで、柔軟な授業形態が可能に。また、すべての教室内に全面ホワイトボードを配置することで、自発的な意見交換やグループワーク、プレゼンテーションを促します。



03 アクティブ・ラーニングと 研究の中心施設となる アラムナイ図書館。

アカデミックアークの中核施設となるのが、大学校友会の支援により整備されるアラムナイ(校友)図書館です。3階と3.5階の二層構造で、動線の中心に設計されているため学生たちは頻繁に図書館を通る仕組みになります。自習や閲覧にとどまらず声を出せるスペースではグループ学習も可能で、待ち合わせスポットとしても使えるなど、用途も多彩。また、廊下にもふんだんに図書を配置しますので、常に書籍に囲まれたキャンパスライフを過ごすことになります。



追手門学院大学の教育実績(私立大学順位)

▶ 就職率ランキング [規模別]

卒業生 1,000人以上
~2,000人未満の大学

3位 関西 2位 大阪

▶ 就職率ランキング [人文社会系]

経営(経済・経営・商学部)	経済(経済・経営・商学部)	心理(学際系学部)
3位 関西 3位 大阪	4位 関西 2位 大阪	7位 関西 4位 大阪

※「大学ランキング2019」[朝日新聞出版アエラムック編集部2018(平成30)年4月発行]
※項目、ランキング等を朝日新聞出版に無断で転載することを禁止します。関西、大阪順位は、本学が独自で集計したものです。